

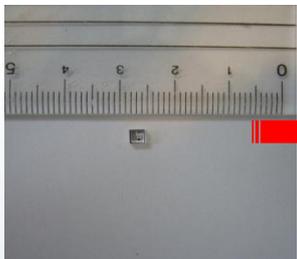
# 「NBI※と拡大内視鏡」 による早期診断

拡大内視鏡は疑わしい病変を拡大観察（約 80 倍）することにより、微細な血管や粘膜構造をよりの確に診断することができます。たとえば、

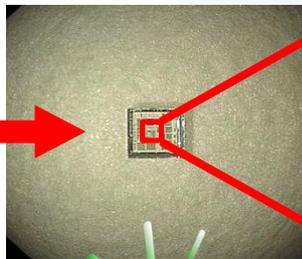
- 「疑わしい病変」が、炎症なのか、腫瘍なのか
  - 腫瘍の場合は、良性なのか、悪性なのか
  - 悪性の場合は、内視鏡での治療が可能か、外科手術が必要か
- こういった、診断を行うことができます。

拡大内視鏡の  
有用性…

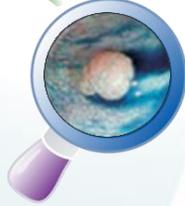
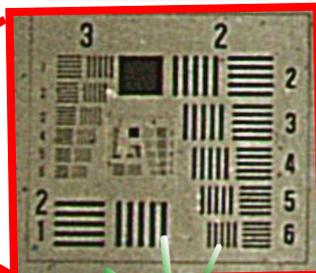
デジカメ



通常の内視鏡  
(約 10 倍)



拡大内視鏡  
(約 80 倍)



当院では…

食道、胃、大腸における「疑わしい病変」の診断に  
拡大内視鏡を用いています。

※NBI (Narrow Band Imaging : 狭帯域光観察) とは、微細な病変を見やすくした観察方法です。

詳しくは、医師・看護師にお問い合わせください。